

小来川地区内公共施設適正化検討 NEWS VOL.1

平成31年(2019年)4月発行

当市においては、老朽化が進む多くの公共施設を抱えており、今後それらの更新(建替え・大規模改修等)が求められています。

この課題解決に向け、公共施設を市の身の丈(人口や財政状況)にあった規模とし、市の将来を担う次の世代への過度な負担とならないよう取り組むため、公共施設の有効活用と改善に向けた方策をまとめた「公共施設マネジメント計画」を平成27年8月に策定し、現在は、個々の施設の具体的な取組を進めています。

小来川地区内の公共施設についても、施設利用者である地区内人口の減少や少子高齢化などにより、必要なサービス量の減少や必要なサービスの質等も大きく変化していく地区であることから、将来の小来川地区のまちづくりを見据えて、必要な機能を維持する施設の再編の検討を早急に進める必要があります。このため、地区内住民の皆さんと一緒に考えるための検討を開始しました。

～小来川地区内公共施設適正化検討専門部会を設置しました～

小来川地区内の公共施設に関する具体的な取組内容の検討協議を行うことを目的として、小来川地区内公共施設適正化検討専門部会を平成31年2月に下記のとおり設置しました。

- **構成**：部会員・・・地区内関係団体等推薦18名(各自治会代表、学校関係者、保育園関係者、地域内活動団体等)
アドバイザー1名(三菱UFJリサーチ&コンサルティング 西尾真治氏)
- **協議内容**：地区内に所在する再編等対象施設の適正化に関すること。
- **会議予定**：所掌事務の協議が終了するまでの間(全4回程度：平成31年2月～同年7月)
- **「日光市公共施設適正化推進市民委員会」への報告**：当該検討した事項が終了したときは、部会長はその内容を委員長に報告します。

小来川地区公共施設再編検討スケジュール(案)

	平成30年度				平成31年度								32年度									
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
全体	検討・協議・調整							実計・予算化調整								事業実施 実施設計等 工事着工 工事完了						
市が検討・決定する内容	検討協議の進め方と具体的課題				地区公共施設に関わる課題と今後のあり方(ビジョン)				具体的解決策と狙い(手法等)				対策の最適解の調整				事業化に必要な各種調整			事業実行に向けた各種対応		
関係課PT	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★					
市民対話	第1回 現状課題の認識				第2回 将来ビジョン				第3回 具体策の検討				第4回 意見の調整									
公共施設適正化推進市民委員会	★																					

Aグループ

●「施設の整備(空き家、商業施設、公園等)」・・・空き家対策、空き家等を活用して、外からも来てもらえるようにする。地区内にお店がないので、商業施設(お店)を復活する、あるいは、新しいものをよぶなど、来た方も利用出来るような公園等の施設の整備をしていく。



●「交通整備(公共の乗り物、道路整備 etc)」・・・施設整備のためには、道路と合わせて、バスやそれに代わる交通網、子供や高齢者の生活(買い物や病院など)のためには、交通の整備が重要と考えました。

●「雇用の創出」・・・雇用をこの地区内で生み出していないとまらない。かつての林業、農業のように、ここで働けば、特に女性は子育てしながら仕事ができる。近くに職場があることは魅力的なこと。出来れば地域の良い資源を生かした雇用の創出をしていきたい。

Bグループ

●「自然をアピールして人をよぶ」・・・小来川の美味しいもの、自然など、たくさんの良いもの、小来川の魅力をネット等(SNS)の周知媒体を活用して、小来川以外に広く発信していく。

●「働く場所をつくる」・・・生活基盤が地域内に無いから若者が離れる、戻ってこない。とにかく働く場所を作っていけば、若者も他からも人が来るのではないかという観点で、農業の会社組織化や、空き家バンクに提供し、移住者を受け入れやすい環境を整えるなどの案が出た。

●「インフラを整備する」・・・自然をアピールして人をよんだり、働く場所をつくるにしても、道路の整備は不可欠だと考えた。



Cグループ

●「道路を改良して安全に通勤や買い物ができる環境を作る」・・・他から来る人も小来川に来やすい、不安のない道路を造るのが一番ではないかという意見になった。

●「誰もが気軽に集える場所や機会を作る」・・・小来川地区内で色々な人の意見を吸い上げる機会とか、伝統行事等もあるが、もっと気軽に集える場所や機会を作るということ。

●「SNSを活用して小来川のPR力の向上を図る⇒新しい力、特産品」・・・今の情報ネットワーク媒体、SNS等を活用して、小来川をPRして、どんどん新しい力と、地域独自の特産品を作って、それを広くアピールして、皆さんに来てもらう場所にする必要がある。小来川の美しい自然をいつまでも残して、小来川住民みんなが誇れるまちにすることが一番大切。



＜西尾アドバイザーから・・・＞

📌投票数No.1：「働く場所を創る」という方策。

人口減少、若者が定住しないことを課題として挙げていたので、そのためには「働く場所が必要」と感じている。

📌得票数No.2：「施設の整備」という方策。

空き家、商業施設、公園と色々な要素があったが、施設の整備ということが大事だと感じているということ。施設の種類の中に、交通とかインフラ、道路とかハードの環境の整備ということも大事だと捉えられている。

📌得票数No.3：「SNSを活用して小来川のPRの向上を図る」という方策。

小来川の強みである自然がとにかく良い所というせつかく良いものを、もっと知ってもらおうということが大事だと言うことを皆さん感じている。

📌グループワークを通じて📌

小来川の強みで一番多かった「人」「繋がり」「人情」といったものを生かしてまちを良くしていくという観点がもう少し出てきて良いのかなという気がしました。交流とかコミュニティづくりの促進という意見もありましたが、せつかくの良い資源である「人」を生かしていく。市、行政がやるべきことでもあります。市民、住民がやっていけることも位置付けていくと、より良いまちづくりに繋がるのかなと思います。

この資料に関するお問い合わせ先

日光市財務部資産経営課
公共施設マネジメント係

〒321-1292

日光市今市本町1番地 本庁舎3階

TEL：0288-21-5132 mail：shisan-keiei@city.nikko.lg.jp

■第1回専門部会



平成31年2月7日(木)午後6時から小来川林業研修センターで、第1回小来川地区内公共施設適正化検討専門部会を開催しました。

第1回目の部会では、当該専門部会の設置目的、役割、日光市並びに小来川地区の公共施設を取り巻く現状と課題について、部会内で情報と認識の共有を図りました。

・皆さんは地区の現状どこまで知っていますか？



【小来川地域概要】

■人口 761人 310世帯 (調査時：H28.4.1 住民基本台帳より)

(65歳以上人口：324人 高齢化率：42.5%)

過去20年間の人口推移を見ると、40%減少しているとともに、日光地域内でも高齢化率が高い地区。



【第1回専門部会の様子】

【地区内の公共施設の設置状況】

●施設数 15 施設 (*消防分団詰所含む)

(延床面積：約 6,925 m²)

⇒ 9.09 m²/地区住民一人当たり

※内、公共施設マネジメント計画実行計画第1期実行計画の対象とした施設は、左図の11施設

中でも、建物の老朽化が進む公共施設が...

小来川小中学校 (S49年築)



小来川地区センター (S43年築)



小来川保育園 (S62年築)



小来川林業研修センター (H3年築)

◇今後の専門部会での検討内容について、部会員から意見や話題が出されました。

- ✓ 地域住民が将来的に希望を持って、これからもこの地域に住み続けられるように、マイナスではなく、プラス思考で検討していきたい。
- ✓ 10年後20年後小来川が今よりも更に輝いて、良い地域にしていけるよう実り多い検討をしたい。
- ✓ 子ども達のことを考えた時に、学校の自体の存続(今後のあり方)も含めて検討していくべき。
- ✓ 建物を減らしても、地域に必要な機能は維持して、1つの建物に集約して、小来川のその場所に行けば常に誰かが居て、コミュニケーションがとれるというような施設が出来たらいい。

《西尾アドバイザーから...》

建物としては減らしていかなければならないけれども、その機能とか、その建物を使ってどういうサービスを実現するのかというところは、皆の知恵と工夫で、色んな工夫をして膨らませることが出来る。

そういった検討をしていくことが大事なこと。子どもや孫達が10年後、20年後どう使っているかということを想像しながら検討していくと良いと思います。



■第2回専門部会



平成31年3月14日(木)午後6時から小来川林業研修センターで、第2回「小来川地区内公共施設適正化検討専門部会」を開催しました。

第2回目の専門部会はグループワークという形で、全体として、10年後、20年後の小来川地区をどんな地区にしたいのかどんな「まち」にしたいのかという地区の将来像について、3つのグループに分かれて、意見交換・検討を行いました。

◇前半グループワーク

小来川地区の**強み**と**弱み**を個人で付箋に書き出し、グループ内で同じような意見を集めて、それぞれグループングしたものに**見出し**をつけて分類。地区の強みと弱みを共有。



【第2回専門部会の様子】



小来川の“強み” (3グループほぼ共通)

- * 「自然」・・・景観、環境の良さ、水がきれい。
- * 「食」・・・美味しいものがたくさんある。
- * 「人柄」・・・人が良い、人情が深い、絆が深い。
- * 「伝統」・・・伝統行事、イベント、祭りを大切にしている。

等の意見が多く見られました。

小来川の“弱み” (3グループほぼ共通)

- * 「少子高齢化」「人口減」・・・若者が戻らない、空き家が多い。
- * 「生活環境」・・・公共交通、インフラ整備(道路)が不便。買い物・病院等が遠く、生活が不便。
- * 「産業」・・・農業・林業の衰退。働く場がない。

◇後半グループワーク

10年後20年後の小来川地区をもっと良くするためにどうすれば良いか。方策について個人で付箋に書き出し、グループ内で同じような意見を集めてグループ内で意見交換しまとめた内容を発表しました。

■Aグループ



■Bグループ



■Cグループ



◇グループワークまとめ(発表)

- ・グループワークの中で意見交換した10年後20年後の小来川地区をもっと良くするための方策について重要なものを上位3つ選んでグループごとにまとめ、グループごとに発表を行いました。
- ・発表後に投票を行う。(1人3票で、自分の班の意見に投票できるのは1票まで)

